

家庭菜園相談室

今月のテーマ

年間の栽培計画をたてよう!

野菜には、日当たりや水分条件などそれぞれ適した栽培環境があります。また、同じ作物を作り続けると連作障害などが発生しやすい品目もあるため、年間の栽培計画を上手にたてる必要があります。今回は、栽培計画をたてる際に参考となる野菜の栽培特性についてご紹介します。



光適応性・耐湿性

品目によって光を好むもの、好まないものがある。弱光線を好むものは、南側に背が高くなる植物を植えたり、被覆材などで日陰を作る工夫が必要である。逆に、光を好むものは南側に障害物がなく日陰ができないようにする必要がある。土壌水分についても過湿に強いもの、弱いものがある。畑の特性をふまえて、湿りやすいほ場では耐湿性の強いものを、乾きやすいほ場では耐湿性の弱いものを優先的に栽培する。また、湿りやすいほ場しかない場合は、高畝にすることも有効な対策の一つとなる。主な光適応性や耐湿性は表1・表2のとおり。

連作障害

同じ野菜だけでなく同じグループ(科)の連作をしていると、その野菜やグループ(科)を侵す土壌病害やセンチュウ類の密度が増加しやすくなるばかりか、土の中のバランスが崩れて生理障害が発生しやすくなる。中には、生育阻害物質を分泌するものもある。このため、同じグループの連作を避け、必要な休耕年数を確保できる栽培計画をたてるのが重要である。面積的な問題からどうしても連作をしなければならない場合は、接ぎ木や土壌消毒などを行うことで連作が可能となる。なお、主な野菜のグループと必要な休耕年数は表3のとおり。

表1 野菜の光適応性

光適応性	野菜の種類
強光が必要なもの	スイカ、トマト、ナス、ピーマン、サツマイモ、エンサイ、ササゲ、オクラ
比較的強光が必要なもの	キュウリ、カボチャ、メロン、ショウガ、サトイモ、ヤマイモ、カブ、ダイコン、ニンジン、ゴボウ
比較的弱光に耐えるもの	イチゴ、ネギ類、ソラマメ、エンドウ、ハクサイ、キャベツ、サンショウ、ユリ
弱光線を好むもの	セリ、ミツバ、ワラビ、フキ、レタス、ミョウガ、キノコ類
暗所	マッシュルーム、軟白野菜(ウド、ミツバ、ミョウガ、モヤシ、ズイキイモ、アスパラガス)

表2 野菜の耐湿性

耐湿性	野菜の種類
強い	サツマイモ、サトイモ、ササゲ、フジマメ、ミツバ、フダンソウ、ゴボウ、イチゴ
中間	エンドウ、タマネギ、ニンジン、シュンギク、ナス、キュウリ
弱い	ホウレンソウ、ソラマメ、ダイコン、ハクサイ、インゲン、トマト、スイカ、カボチャ

表3 主な野菜のグループと必要な休耕年数

分類	主な野菜(休耕年数)	
果菜類	ナス科	ナス(3)・トマト(3)・ピーマン(3)
	ウリ科	キュウリ(3)・スイカ(3)・ニガウリ(2)・カボチャ(0)
	マメ科	エンドウ(5)・インゲン(3)・ソラマメ(3)・エダマメ(3)
	バラ科	イチゴ(2)
	イネ科	スイートコーン(0)
根菜類	アブラナ科	カブ(1)・ダイコン(1)
	ナス科	ジャガイモ(3)
	セリ科	ニンジン(2)
	ヒルガオ科	サツマイモ(0)
	サトイモ科	サトイモ(3)
	キク科	ゴボウ(5)
葉菜類	アブラナ科	ハクサイ(3)・キャベツ(1)・ブロッコリー(1)・コマツナ(0)
	ヒユ科	ホウレンソウ(2)
	ヒガンバナ科	ネギ(2)・タマネギ(1)
	セリ科	セロリ(1)
キク科	レタス(1)・シュンギク(1)	

家庭菜園に関する相談は、TAC(タック)、支店営農経済担当者までご連絡ください。